

コースコード：HP-HU0C4S
税込価格：308,000円 (税抜価格：280,000円)
日数：3日間

ここに注目!!

当トレーニングは、日本ヒューレット・パカード合同会社(HPE)主催クラスへのご案内となります。

トレーニング名：ITIL®4 スペシャリスト：ハイベロシティIT (HVIT：High-Velocity IT)

- ・受講後1年間、最大3回まで再試験を無料で受験できます（初回試験を含めると、最大で4回受験可能。試験料金はHPE教育サービスが負担します）。
（ITILの更新にともない、試験機関による本試験の提供が終了した場合は、再試験も終了します）
- ・受講者の方は、スマホ対応の試験対策eラーニングを無料でご利用いただけます。
（初日から6か月後の末日までご利用いただけます）

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・ハイベロシティ環境におけるデジタルサービスまたはデジタルトランスフォーメーションプロジェクトに携わるIT管理者および実務家
- ・ITIL4マネージングプロフェッショナル資格取得を目指す方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・ITIL 4ファンデーション資格または ITIL 4マネージングプロフェッショナルトランジション資格を取得済みの方
- ・ITIL V3のいずれかの認定資格を取得済みの方(2024年11月より要件が緩和されました)
コースお申込時に認定証のコピーをご提供ください。認定試験受験の必要書類となります

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・ITに対する要求およびデジタルエンタープライズのハイベロシティに関する概念を理解する
- ・ITILの「運用モデル」の観点からデジタル製品のライフサイクルを理解する
- ・ハイベロシティIT(高速IT)を提供するための原則およびその他の基本概念を理解する
- ・デジタル製品による価値の実現に役立つ取り組み、プラクティスを知る

アウトライン

HVIT の概要



HVITの重要な概念

デジタル企業のハイペロシティ

デジタル組織

HVIT

デジタルトランスフォーメーション

ITトランスフォーメーション

デジタル製品

デジタルテクノロジー

トランスフォーメーションは、どのようなときに行うのが望ましく実行可能か

経済的観点からの目的

価値ある投資

迅速な開発

レジリエントオペレーション

共創された価値

確実な適合性 (GRC)

リーン

アジャイル

レジリエント

継続的

サービスドミナントロジック

デジタル製品のライフサイクル

サービスバリューシステムによるHVITの実現

HVITオペレーティングモデル

消費者の視点から見たデジタル製品のライフサイクル

カスタマージャーニーモデル

サービスバリューチェーン

バリューストリーム

ガバナンス、実行、および改善に関して位置付けられたバリューストリーム



4つの側面

外的要因

HVITカルチャー

HVITとバリューチェーン

HVITカルチャーのモデルと概念

顧客が仕事を成し遂げるのを支援する

信頼し信頼される

継続的にバーを上げる

あいまいさと不確実性を受け入れる

継続的な学習に取り組む

倫理

セイフティーカルチャー

リーンカルチャー

トヨタのカタ

デザイン思考

複雑性思考

複雑なシステムの本質的に危険な性質

マネジメントプラクティス

ポートフォリオ管理プラクティス

関係管理プラクティス

アーキテクチャ管理プラクティス

事業分析管理プラクティス

展開管理プラクティス

サービスの妥当性確認およびテストプラクティス

ソフトウェア開発および管理プラクティス



可用性管理プラクティス

キャパシティおよびパフォーマンス管理プラクティス

モニタリングおよびイベント管理プラクティス

問題管理プラクティス

サービス継続性管理プラクティス

インフラストラクチャおよびプラットフォーム管理プラクティス

サービスデザインプラクティス

サービスデスクプラクティス

情報セキュリティ管理プラクティス

リスク管理プラクティス

HVIT

デジタル製品で価値の達成に貢献する方法を理解する

HVIT環境で使用される手法

価値ある投資のためのテクニック

優先順位付けと、関連するプラクティス

実用最小限の製品と、関連するプラクティス

製品またはサービスオーナーに関連するプラクティス

a/bテストと、関連するプラクティス

迅速な開発のためのテクニック

コードとしてのインフラストラクチャ(Infrastructure as code)と、関連するプラクティス

疎結合情報システムアーキテクチャと、関連するプラクティス

ふりかえりと、関連するプラクティス

非難のない事後分析と、関連するプラクティス

継続的な事業分析と、関連するプラクティス

継続的インテグレーション/継続的デリバリー/継続的デプロイと、関連するプラクティス

継続的テストと、関連するプラクティス



かんばんと、関連するプラクティス

レジリエントオペレーションのためのテクニック

技術的負債と、関連するプラクティス

カオスエンジニアリングと、関連するプラクティス

完了の定義と、関連するプラクティス

バージョン管理と、関連するプラクティス

AI Opsと、関連するプラクティス

ChatOpsと、関連するプラクティス

SRE(Site reliability engineering)と、関連するプラクティス

価値の共創を確実にするためのテクニック

適合性を確保するためのテクニック

DevOps Audit Defense Toolkitと、関連するプラクティス

DevSecOpsと、関連するプラクティス

ピアレビューと、関連するプラクティス

HVIT認定試験対策

トレーニング内容は、予告なく変更されることがございます。

ITIL® は AXELOS Limited の登録商標であり、AXELOS Limited の許可のもとに使用されています。すべての権利は留保されています。